II. 分担研究報告

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

がん登録推進法第 20 条提供情報の有用性と安全性のバランスについての研究

研究分担者　東　尚弘　東京大学 医学系研究科公衆衛生学分野 教授
研究代表者　藤下　真奈美　東京大学 医学系研究科公衆衛生学分野 客員研究員
研究分担者　榊原　直喜　静岡県立大学 看護学部看護学科 准教授

研究要旨

本研究は、がん登録推進法に基づき病院へ提供される生存確認情報について、個人情報保護の制約により多施設共同研究などでの活用が困難となっている現状を踏まえ、安全性を担保しつつ有用性を維持する現実的なデータ加工方法の提案を目的とする。そのために臨床医、個人情報保護の専門家、患者関係者、がん登録研究者らによる議論を通じて方法を検討した。結果、日付情報については、①起算日情報と日数データを分離管理し復元しないことを誓約する方法、②最終生存確認日や死亡日に±1 日のランダムな補正を加える方法、の 2 案を提示した。特に後者は、集団レベルの解析においてバイアスを生じにくく、実務上も簡便である点から、有用性と安全性のバランスが取れた加工方法と考えられる。また死因情報については、単なる「がん/非がん」の二分類ではなく、より情報を保持した形での加工を行い、がんでは部位情報を保持しつつ桁数を縮約するなど、研究利用に耐える情報精度を確保する加工方法を提案した。生存確認情報が使いづらいという現状については、法改正による抜本的解決の必要性も考えられるが、現行制度下で活用を進める実務的対応は重要である。本提案により長期保存や多施設共同研究への活用が可能となり、全国がん登録データの有用性向上に資することが期待される。

A． 研究目的

2016 年より「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、全国がん登録の制度が開始されたことから、同法第 20 条により、全国がん登録に届出をした病院には生存確認情報が提供されることが規定されている。

これは、病院が自施設患者の生存率を計算することが容易になるなど医療の質の検討に役に立つと期待されるが、全国がん登録から提供された情報の保有期間が制限されていることや第三者提供が禁止されるなどのために、多施設共同研究では利用できない、さらにはカルテへの転記も禁止されることなどから、有用性が大きく制限される状況となっている。

そのような状況の打開のために、全国がん登録情報利用マニュアル（令和 7 年 4 月発行、令和 8 年 4 月改訂。以下「マニュアル」とする）においては、予後情報の最終生存確認日や死亡日の起算日からの日数変換や死因のがん/非がんの区別のみとした情報の第三者提供や長期保存を行うことが可能である旨が明記された。

しかし、第三者提供の際には起算日情報（主に診断日）を提供しない、あるいは、既に保有している場合には削除することが求められており、事実上、多施設共同研究での利用は不可能な状態が続いていた。

本研究においては、個人情報保護の観点からの安全性を担保しつつ、有用性を失わない現実的な加工方法を提案することを目的として、検討を行った。

B． 研究方法

まず、現実的な加工方法を考案し、研究班会議を 2 回開催することで、がん診療を専門とする臨床医、個人情報保護の専門家、患者関係者、がん登録の研究者から成る分担研究者及び研究協力者により、その有用性や実務上の現実可能性についての検討を行った。

これらの議論を踏まえ、最終生存確認日や死亡日について、安全性を担保しつつ有用性を維持する加工方法を検討した。また、ICD－10 で示される死因情報においても、研究利用上の有用性を失わない範囲での大域分類化を考案した。

作成した加工方法の案については、上記議論の参加者に再度供覧し意見を収集した上で、最終案として取りまとめた。

（倫理的配慮）

本研究は、分担研究者と研究協力者の中での理論的検討であり、参加者はみずからの意思により議論に参加している。いわゆる研究者と被験者が存在する研究ではなく、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の対象となる医学研究ではない。

C． 研究結果

最終的な提案書を本報告書に添付するが、ここでは概要をまとめる。

１）日付の加工（最終生存確認日/死亡日）
　下記の 2 つの案のうちいずれかの方法を用いた加工が提案された。

案１：
起算日情報を含むデータと日数変換データを別のデータベースとして管理し、最終生存確認日又は死亡日を復元しないことを誓約する
案２：
最終生存確認日/死亡日に±1 日をランダムに加えた日付を提供する

　案１は、提供時に起算日情報を提供しないことを定めた現行のマニュアルの記載について「提供しない」という要件を現実的な運用に落とし込むことを目的とした提案である。起算日情報は、研究によって必ずしも診断日に限られるものではなく、各種治療開始日となることも考えられる。そのため、研究毎に起算日を消去することを求めた場合、結果として、必要な情報を欠いたデータベースが出来上がることになることとなり、研究利用上の有用性が大きく損なわれる可能性がある。そこで、起算日情報を含むデータと日数変換データを同一のデータベースで保有せず、かつ、最終生存確認日又は死亡日の復元を行わないことを誓約する形で安全性を確保するものとした。
　案２は、案１のようにデータベースを複数管理することが実務上煩雑となる可能性を踏まえ、確率的に日付情報を加工する方法として提案されたものである。日付情報は、法第 21 条提供においても特段の加工を施すことなく提供されている情報であることから、これに±１日のランダムな加工が行われれば、少なくとも加工が行われず提供されている法第 21 条提供と比べて安全性は高まると考えられる。また、ランダムな±1 日の加工であれば確率的に集団レベルの解析ではバイアスを生じにくいと考えられることもあり、必要最小限の加工方法として位置付けられる。これが本提案のプライバシー保護とデータ活用の有用性のバランスを図る方法であると考えられた。

２）死因情報の加工
　現行のマニュアルに記載されている、死因情報をがん・がん以外に大別するという分類方法では、活用における有用性が損なわれると考えられる。特にがんにおいては、がん種の情報を保持したうえで加工をすること、また、がん以外の死因においても一定程度の疾患種別の情報を保持することを目標とした。
　結果、がんの分類については、以下の手順を提案する。
①C**.*の４桁目「.*」の部分を削除し、「C**」と、３桁（C＋数字２桁）のみの表示とする。
②「D00-D09　上皮内がん」は、3 桁「D**」が単一の C**に対応するものは、「D**.*の４桁目「.*」の部分を削除し、「D**」の３桁（D＋数字２桁）のみの表示として、C**とまとめる」などの処理を行い、同じ部位の C**のコードにまとめる。
③C**.*の「.*」の部分が存在しない、かつ、同じ部位の対応する「上皮内がん」が無いものは、「「D37-D48 性状不詳又は不明の新生物」のうち部位が類似するものとまとめる」などの処理を行い、他のコードとまとめる。
④「D10-D36 良性新生物」及び③でまとめられなかった「D37-D48 性状不詳又は不明の新生物」については、「D**.*の４桁目「.*」の部分を削除し、「D**」と、３桁（D＋数字２桁）のみの表示とする」などの処理を行う。
　具体的な ICD-10 コードごとの対応関係は、資料３「死因情報の変換表（新生物）」として別に示す。
　がん以外の診断については、基本的に厚生労働省の「疾病、傷害及び死因の統計分類」（ICD-10 準拠）の「中間分類」とすることを提案する。例えば、感染症などでは、A00－A09 腸管感染症、A15－A19 結核、A20－A28 人畜共通細菌性疾患、A30－A49 その他の細菌性疾患など、ある程度のコードがまとめられた。がん以外の診断の変換例として資料４「死因情報の変換表（がん以外の例）」を別に示す。

D.　考察
　本研究では、法第 20 条に基づく提供の情報について、安全性と有用性のバランスを考慮した加工方法を提案した。
　検討の過程では、加工方法を複雑にするよりも、法律を改正して生存確認情報をより柔軟に利用できる制度とすべきである、という意見も聞かれたが、これらは並立しないものではない。特に法律改正には、行うとしても相当の時間を要することから、その間、生存確認情報の活用が進まない状態を放置することは、現行の法律の意義を減弱させるものであると考えた。
　一方で、今回提案した加工方法は様々な研究課題に対応できるように最大公約数を考えたものである。個別の研究においては一部で詳細な死因情報が必要な場合も考えられる。そのような場合に適合した加工方法が許されるのかどうか、といったことを判断する仕組みが必要であると考えられる。

E.　結論
　本研究では、がん登録推進法第 20 条に基づき届出施設に提供される生存確認情報について、長期保存あるいは多施設共同研究における他施設に提供を可能とするため、有用性を損なわない範囲での加工方法の提案を行った。本提案を迅速に運用に取り入れることによって、生存確認情報の活用

可能性が高まり、がん登録の有用性が飛躍的に向上すると考えられる。

F． 健康危険情報

特になし

G． 研究発表

１．論文発表

1. Niino M, Tomizuka T, Nishina Y, Ichinose Y, Gonoi W, Higashi T. A nationwide survey on the prevalence of asbestos-related lung cancer in Japan. PLoS One. 2026 Mar 20;21(3):e0313468. doi: 10.1371/journal.pone.0313468. eCollection 2026. PMID: 41860806
Ichinose Y, Toida T, Niino M, Rikitake R, Yamamoto Y, Watanabe T, Wakita T, Higashi T. Evaluating Japan’s Cancer Control Activities: Findings from the Third Cancer Patient Experience Survey. Support Care Cancer. 2026 Feb 24;34(3):244. doi: 10.1007/s00520-026-10371-0.)
2. Ichinose Y., Rikitake R., Watanabe T., Yamamoto Y., Kakuwa T., Toida T., Wakita T., Higashi T.: Effect of different questionnaire formats on item nonresponse in older patients with cancer. BMC Geriatr 2025, 25(1):238.
3. Ogura K, Morizane C, Satake T, Iwata S, Toda Y, Muramatsu S, Takemori T, Kondo H, Kobayashi E, Arakawa A, Ogawa C, Katoh Y, Higashi T, Kawai A. Incidence and age- and site-specific characteristics of osteosarcoma: a population-based study using National Cancer Registry 2016-2019. Jpn J Clin Oncol. 2025 Sep 5;55(9):1037-1045.
4. Rikitake R, Yatabe Y, Yamamoto Y, Shimoi T, Iwata S, Goto Y, Mizushima Y, Kawai A, Higashi T. Proposal for a New Classification of Rare Cancers Adopting Updated Histological Tumor Types.

H．知的財産権の出願・登録状況

なし

資料１

がん登録推進法第 20 条の規定に基づき提供される生存確認情報の加工及び管理方法に関する提案書

【1. はじめに】

がん登録等の推進に関する法律（平成 25 年法律第 111 号。以下「法」という。）第 20 条においては、都道府県が、病院等（全国がん登録の届出元となる、病院又は都道府県により指定された診療所をいう。以下同じ。）に対して、全国がん登録データベースが保有する届出がなされた患者の生存確認情報（生死の別及び最終生存確認日又は生死の別、死亡日及び死因）を提供することが定められている。この法第 20 条の規定に基づき提供される生存確認情報（以下「20 条提供情報」という。）は、患者本人の同意なく収集された情報を病院等において個人が特定可能な形で提供されること及びその機微性に鑑みて、法第 30 条から第 34 条までの安全管理措置や保有期間制限等に係る規定の適用を受け、情報の厳格な管理が求められているものである。そのため、病院等以外の者（第三者）に提供することは認められない。一方、安全管理措置として課される、情報の保有期間制限や第三者提供の制限は、全国がん登録情報の利活用の推進を阻害しうるものとして、法制定時から課題とされてきた。

この課題に対して、予後情報の活用による患者メリット及び情報の保護のバランスに鑑み、厚生科学審議会がん登録部会（令和６年９月 18 日開催の第 28 回から令和７年２月 20 日開催の第 31 回まで）の議論を経て、一定の加工を施した上で、第三者提供を認める運用とした（令和７年４月１日に新たに策定された「全国がん登録 情報の利用マニュアル（第１版)」に記載し、同日より運用が適用された)。

一方、この新しい運用で定められた方法は限定的であり、依然として多くの研究現場で利用が進まない構造的課題が残されている。令和７年 10 月 29 日に開催された規制改革推進会議第６回健康・医療・介護ワーキング・グループ（以下単に「規制改革推進会議」という。）において、がんに関する患者団体、研究機関、学術団体等より、20 条提供情報の取扱いを含む、全国がん登録情報の更なる利活用推進のためのニーズが報告された。

本提案書では、規制改革推進会議も含め、これまでに提案された研究現場のニーズを踏まえ、可能な限り速やかな社会実装ができるよう、現行の運用に追加的な対策や制度設計の整備案を提示するものである。

【2. 現行制度の整理】

（20 条提供情報についての状況）

法第 20 条は、病院等が自院で診断・治療等を行い全国がん登録に届出をした患者について、その後の生存確認情報を、都道府県を通じて受け取ることを定めた条文である。自院で診療した患者に関する予後情報を把握することは、医療の質の向上や患者説明の充実、院内での医療評価に不可欠であり、届出元の病院等においては、従来から 20 条提供情報の取得及び利用が可能である。

しかし、20 条提供情報の第三者提供や長期保有は、法第 31 条において目的外利用の禁止が規定され、法第 32 条において情報の保有期間が制限されている。これらの法律上の規制事項を確実な運用とするため、第 12 回厚生科学審議会がん登録部会（平成 30 年６月 28 日開催）の資料に基づき、カルテへ転記することも含めて運用が制限されてきた。このため、20 条提供情報を外部研究へ提供することや、長期間

保持する必要のある学会が独自に構築しているデータベースで利用すること等はできなかった。

令和７年４月に公表された「全国がん登録 情報の利用マニュアル」では、これらの運用を改善するため、20条提供情報について一定の加工を行うことで第三者提供を可能とする仕組みが示された。具体的には、最終生存確認日又は死亡日と死因については、病院等及び病院等から提供を受ける者がそれぞれ以下の条件をいずれも満たした場合、第三者提供を可能とすることとされた。

・病院等は、診断日等（※）と最終生存確認日又は死亡日の差から得られる期間（日数）に最終生存確認日又は死亡日を加工する。（例：最終生存確認日／死亡日－診断日 → 152 日）

・病院等は、病院等から提供を受ける者において当該期間から最終生存確認日又は死亡日を復元できないよう、診断日等を併せて提供しない。

・病院等から提供を受ける者は、診断日等（※）を保有している場合、当該期間から最終生存確認日又は死亡日を復元できないよう、当該診断日等の「日」の情報を削除する（例：2024 年３月 11 日 → 2024 年３月）。なお、「年月日」すべてを削除する等、「日」以上の情報を削除する場合も問題ない。

・病院等から提供を受ける者は、当該期間から最終生存確認日又は死亡日を復元できないよう、当該期間を保有する限り、診断日等を新たに入手してはならない。

（※）診断日等は、診断日、治療開始日及び手術実施日等、研究に必要な生存期間の算出の起点となる日付情報を意味する。

・病院等は、原死因を「がんによる死亡」又は「がん以外の死亡」に置換する。（例：原死因が胃がん →「がんによる死亡」、原死因が心不全 →「がん以外の死亡」）

（通常診療等で入手された診療情報および死亡情報についての状況）

個人情報保護法において、個人情報は「生存する個人に関する情報」であって、「特定の個人を識別することができるもの」又は「個人識別符号が含まれるもの」と定義されている。また、診療に関する情報は個人の病歴に関する情報を含むことから、一般に「要配慮個人情報」として、一般の個人情報よりも厳重な管理が求められており、これら要配慮個人情報は、原則として本人の同意なく利用目的外の利用や第三者に提供することは禁止されている。

一方で、これらの制限は、例えば学術研究機関等における学術研究目的での利用においては、例外として、利用目的による制限や第三者提供の制限は適用されない。ただし、学術研究利用においては、特に「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」が定められており、それに従って、倫理審査委員会が個人情報の扱いを含めた研究計画を審査している。本指針には、同意の取得方法に関する詳細な規定があり、研究対象者に対する侵襲性の程度等によって要求される手続きが定められている。また、研究機関が研究を管理することについての定期的な報告義務なども規定されている。これらの手続きに従う範囲で、一般に医療機関が保有する情報の学術研究機関への提供が行われている。このため、例えば、院内で死亡した場合や、紹介先で死亡した者の報告を受けるなど、一般に医療機関ががん患者の死亡日や死因の情報を保有する場合もあるが、これは、20 条提供情報ではないので、第三者提供する際に求められる加工は不要である。

（法第 20 条以外の条文で規定される研究利用について）

法第 21 条第４項又は第９項において、国又は都道府県から病院等とは関係のない研究者等へ、匿名化情報を提供できる旨が規定されており、その規定に従って審査手続きを経て提供が行われている。その際、匿名化情報（個人識別符号が無いデータ）について、最終生存確認日又は死亡日は生存期間に変換される場合もあるが、審議会の審査によって、最終生存確認日又は死亡日の提供も可能である。また、死因の加工は行われていない。

【3. 現行運用で生じている課題】

20 条提供情報の現行の運用に対して、規制改革推進会議で報告された事例に挙げられたものを含め、研究現場のニーズとのギャップが以下のとおり生じている。

現状、「生存期間（日数)」の提供を受ける場合、提供を受ける研究者は診断日（起算日）情報の削除が必要となっているが、実務上、診断日は研究データの基本変数であることや、例えば、C-CAT レポジトリを基にした遺伝子変異に基づく薬剤の有効性分析等、生存率の計算は診断日を起点とするだけでなく、治療開始日や検査日なども起算日として計算する可能性があるため、これらを含めて日数変換した場合、既に保有している治療開始日まで消去することが必要となる。現在は、１つのデータベースを使って様々な研究を行うことが一般的であり、多くの研究では日付自体を保持して、そこから研究目的に応じて日数を計算する。診断日、治療開始日、各治療の実施日等、可能性のある日付をすべて消去すると、同一のデータベースを活用した研究間における整合性が失われる可能性や、ある研究計画のために他の研究計画が実施困難になる可能性があるなどの問題が起きるリスクがある。さらに、提供されるものが期間（日数）であるため、第三者提供元の病院等にとって、各患者について、起算日から最終生存確認日又は死亡日までの日数を算出する負担が大きいことも課題として挙げられる。

また、死因を「がんによる死亡／がん以外の死亡」の２分類とする加工について、まず「がんによる死亡」の粒度であると、一人の患者が複数のがんに罹患する場合もある中、死亡の直接の原因となったがんを区別できないため、部位別の死亡を評価することが困難となる。そして「がん以外の死亡」の粒度であると、死因の特定ができないため、併存症等に対する治療の必要性や安全性の検討ができないといった課題が挙げられる。

【4. 現行法の規定を維持した上で可能な改善案とその根拠】

上記の現行運用上の課題解消に向けた改善案を提案するにあたり、提供のための前提条件は二つあると考えられる。一つは、20 条提供情報に何らかの加工を施すこと（第三者提供先において復元できない状態となること)、もう一つは情報が保護されていると言えることである。これらに鑑みて、最終生存確認日又は死亡日と死因の加工方法を以下のとおり提案する。

なお、提供元の病院等における加工に係る負担を軽減するとともに、各病院等における加工処理の品質を担保するため、国立がん研究センターが配布するがん登録の業務支援ソフトウェア（Hos-CanR）に、加工の支援ツールを実装することは必須である。また、独自のシステムを使っている病院等においても、国立がん研究センターが配布するソフトウェアと同じ処理が可能なソフトウェアの開発ができるよう、加工処理のソフトウェア開発に有用な情報の開示や加工の適切性の確認等について、国立がん研究センターの協力を得られるようにすることも必要である。

１）最終生存確認日又は死亡日の取扱いに関する改善策（案１・案２）

まず、最終生存確認日又は死亡日に関しては二つの案を示す。提供先の機関において、研究案件ごとに現行の運用、案１、案２のいずれかから一つを選択することを想定している。

案１：「起算日情報を含むデータ」及び「日数変換データ」を別のデータベースとして管理し、最終生存確認日又は死亡日を復元しないことを誓約する

起算日情報を消去する目的は、最終生存確認日又は死亡日を復元しないことにある。そこで、研究機関はこれらを復元しないという誓約書を提出し、リンク禁止を明確にしたうえで両データを別のデータベースとして保持できるようにする。その上で、研究者が復元（分かれたデータベースにある情報の照合）しないことを、明示的に誓約書として提示することは可能と考えられる。「誓約書による管理」という手法は、すでに法第 21 条の規定により提供される情報の利用や他の公的データベースの利用においても利用されている運用であり、実績がある。誓約書は、情報の提供を受ける第三者から情報の提供元に対して提出する。

案２：最終生存確認日又は死亡日に±1 日をランダムに加えた日付を提供する

日数加工とは異なる加工手段として、最終生存確認日又は死亡日に±１を加えて日付を秘匿するという方法が考えられる。最終生存確認日又は死亡日を±１とすることは、保有する診断日等の起算日からの期間に１日の差が生じることとなるが、数か月から数年単位で生存率を解析するがんにおいて、１日の差が研究成果に与える影響は極めて軽微と考えられる。また、ランダム化が完全であれば、統計的にも推定値にバイアスは生じずに、不偏性が保たれるため、研究に与える影響はきわめて小さいと考えられる。

情報の保護の面では、ランダムに加工されることで、起算日から明確に復元することはできなくなる。また、通常の研究活用においては最終生存確認日又は死亡日自体が加工されずにそのまま提供されることも多く、今回のような加工がなされることは、その分安全性が向上していると考えられる。

２）死因の加工に関する改善策（案３）

案３：「がんによる死亡」「がん以外による死亡」それぞれについて、ICD-10 コードにより分類された原死因からの加工の粒度を上げたものを提供する。

死因については、別資料の「死因情報の変換表」に従って加工する。具体的には、現行で「がんによる死亡」となる死因については、ICD-10 コードの４桁目を削除し、３桁目までを提供する。これにより、原発部位のがんによる死亡かどうかの判別が可能となる。次に、現行で「がん以外の死亡」となる死因については、中間分類として提供する（※）。これにより、感染症や循環器病等の疾患等の判別が可能となる。これらのことから、がんの部位別の死亡や併存症等による死亡の解析も可能となり、多くの研究目的に対応できるようになると考えられる。

情報の保護の面では、死因をそのまま提供している標準的な情報粒度よりも粗くなることで、より安全と考えられる。

（※）規制改革推進会議も含め、これまでに提案された研究現場のニーズを踏まえ、中間分類での提供が必要十分であると考えられる。

【5. 今後の展望】

以上のように、本提案では現行法を維持しつつ、実務上の課題を解消するための加工・管理方法の具体的な案を提示した。本提案に基づき制度を運用することで、がん登録データの適切かつ積極的な活用が進み、がん医療の質の向上、希少がん研究の推進、そして患者利益の最大化等につながることが期待される。今後は、研究者・行政・医療機関が協働し、制度の透明性と実効性を高めながら、がん登録を真に社会に資する基盤へと強化していくことが求められる。

上記の提案に加え、今後の展望について重要と考える観点を２点挙げる。

１点目は、新しい加工方法のニーズについての迅速な検討と承認体制の構築である。研究は常に新しい考え方や方法で行われるため、想定外の研究計画が将来的に提起されることがある。また、そのような想定外にこそ、新しい研究の開拓が見込まれるとも考えられるため、その芽を摘まないようにすることも重要である。こうした今後新たに生まれるニーズに対応するためにも、継続的に新しい研究アイデアに対応した加工方法のニーズをくみ取り、迅速に運用可能となる体制作りが必要となる。例えば、厚生科学審議会がん登録部会において新たな加工方法の検討を行い、その議事録で運用を認める、又はホームページに公表するなどが考えられる。特に、死因の分類は、様々な研究によってニーズが異なることが考えられることから、柔軟な加工が求められることが想定される。

２点目は、加工された情報の取扱いについてのルールの明確化である。また、20 条提供情報は法律上、加工しなくても提供された院内で研究に活用することは可能とされているものの、都道府県に利用者のリストを提出し、その利用者が限定されることや誓約書の提出といった制限の多い運用のために、事実上、研究で利用されることはほとんどない。研究では、他の院内の既存の情報と合わせて分析されるのが通例であるが、その一部だけに特別の管理が要求されることも、活用推進の阻害要因となっている。そもそも、20 条提供情報は、従来から厳格な運用が求められており、規則を十分に理解できずに利用を躊躇することが、事実上、制度を利用する障壁となっている。今回提案された手法に従って加工された情報については、特別に要求される管理を付加するものではないこと、及び各施設の個人情報管理の手順によって院内で保有する他の情報の第三者提供と同様に行うことが可能となることを、公表資料によって周知を図るなどして、制度を利用することに対する不安を取り除くことが必要である。

がん登録情報は国民にとって貴重な財産であるが、それが適正に活用されて初めてこの価値が生きてくる。そのための一助として、今回許容可能な加工手続きの明確化や周知を提案した。この運用については、規制・規則を情報保護の目的に照らして必要十分であることを旨とし、円滑な運用を確保していくことが必須である。

資料２　　がん登録推進法第 20 条の規定に基づき提供される生存確認情報のうち死因の加工方法について

１．ICD-10 における「C00-D48 新生物」の加工方法

「C00-C97 悪性新生物」、「D00-D09 上皮内がん」、「D10-D36 良性新生物」、「D37-D48 性状不詳又は不明の新生物」について以下のとおり加工する。なお、*は数字を示す。

① C**.*の４桁目「.*」の部分を削除し、「C**」と、３桁（C＋数字２桁）のみの表示とする。（以下、「C**」で定義される部位を「C 部位」とする）

【例】「C00.0」（口唇の悪性新生物＜腫瘍＞，外側上唇）→加工後：「C00」（口唇の悪性新生物＜腫瘍＞）

② 「D00-D09 上皮内がん」は、以下の流れに従って表示し、同じ部位の C**のコードにまとめる。

(ア) D**.*のうち、３桁「D**」が単一の「C 部位」に対応するものは、D**.*の４桁目「.*」の部分を削除し、「D**」の３桁（D＋数字２桁）のみの表示として、当該「C 部位」の C**とまとめる。

【該当箇所】「D03」（上皮内黒色腫）＋「C43」（皮膚の悪性黒色腫）
「D04」（皮膚の上皮内癌）＋「C44」（皮膚のその他の悪性新生物）
「D05」（乳房の上皮内癌）＋「C50」（乳房）
「D06」（子宮頚（部）の上皮内癌）＋「C53」（子宮頚部）

(イ) D**.*のうち、３桁「D**」が複数の「C 部位」にまたがる場合であっても、各４桁「D**.*」に対応する単一の「C 部位」がある場合は、D**.*の４桁目「.*」までの表示としつつ、当該「C 部位」の C**とまとめる。

【該当箇所】「D00.1」＋「C15」（食道）、「D00.2」＋「C16」（胃）、
「D01.0」＋「C18」（結腸）、「D01.1」＋「C19」（直腸 S 状結腸移行部）、
「D01.2」＋「C20」（直腸）、「D01.3」＋「C21」（肛門及び肛門管）、
「D02.0」＋「C32」（喉頭）、「D02.1」＋「C33」（気管）、「D02.2」＋「C34」（気管支及び肺）
「D07.0」＋「C54」（子宮内膜・子宮体部）、「D07.1」＋「C51」（外陰部）、「D07.2」＋「C52」（膣）、
「D07.3」＋「C57」（その他及び部位不明の女性生殖器）、「D07.4」＋「C60」（陰茎）、「D07.5」＋「C61」（前立腺）、
「D07.6」＋「C63」（その他及び部位不明の男性生殖器）、「D09.0」＋「C67」（膀胱）、
「D09.2」＋「C69」（眼）

(ウ) D**.*のうち、対応する C 部位がない（複数の C 部位に該当する場合を含む）場合は、D**.*の４桁目「.*」までの表示としつつ、類似の部位又はそれらを包含する部位のコードとまとめる。

【該当箇所】「D00.0」＋「C14」（その他及び部位不明確の口唇，口腔及び咽頭）
「D01.4」「D01.5」「D01.7」「D01.9」＋「C26」（その他及び部位不明確の消化器）
「D02.3」「D02.4」＋ 「C39」（その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器）
「D09.1」＋「C68」（その他及び部位不明の尿路）

「D09.3」＋「C75」（その他の内分泌腺及び関連組織）
「D09.7」「D09.9」+「C76」（その他及び部位不明確）

③　C**.*の「.*」の部分が存在しない、かつ、同じ部位の対応する「上皮内がん」が無いものは、以下の流れで、他のコードとまとめる。
(ア)「D37-D48 性状不詳又は不明の新生物」のうち部位が類似するものとまとめる。
【該当箇所】
「C37」（胸腺）＋「D38.4」
「C55」（子宮，部位不明）＋「D39.0」
「C56」（卵巣）＋「D39.1」
「C58」（胎盤）＋「D39.2」
「C64」（腎盂を除く腎）＋「D41.0」
「C65」（腎盂）＋「D41.1」
「C66」（尿管）＋「D41.2」
「C73」（甲状腺）＋「D44.0」

(イ) ③（ア）で該当するものが無ければ、①でまとめた C**のコードの中で部位が類似するものとまとめる。
【該当箇所】「C01」（舌根＜基底＞）＋「C10」（中咽頭）
「C07」（耳下腺）＋「C08」（その他及び部位不明の大唾液腺）
「C12」（梨状陥凹＜洞＞）＋「C13」（下咽頭）
「C23」（胆のう）＋「C24」（その他及び部位不明の胆道）

(ウ) ③（ア）・（イ）でいずれも適切なまとめ方がない C97 については、C80 とまとめる。
【該当箇所】「C97」（独立した（原発性）多部位）＋「C80」（部位が明示されていないもの）

④　「D10-D36 良性新生物」及び③（ア）でまとめられなかった「D37-D48 性状不詳又は不明の新生物」については、以下の流れで加工する。
(ア) D**.*の４桁目「.*」の部分を削除し、「D**」と、３桁（D＋数字２桁）のみの表示とする。
【例】「D10.0」（口腔及び咽頭の良性新生物＜腫瘍＞，口唇）→ 加工後：「D10」（口腔及び咽頭の良性新生物＜腫瘍＞）

(イ) D**.*の４桁目「.*」の部分が存在しないものは、④（ア）でまとめた D**の中で部位が類似するもの又は同じ部位を含むものとまとめる。
【該当箇所】
「D24」（乳房の良性新生物）＋「D48」（その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物）
「D27」（卵巣の良性新生物）＋「D28」（その他及び部位不明の女性生殖器の良性新生物）
「D34」（甲状腺の良性新生物）＋「D35」（その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物）
「D45」（真正赤血球増加症）＋「D47」（リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物）

２．ICD-10 における「C00-D48 新生物」以外の加工方法

当該コードが属する中間分類項目の表示とする（例１）。なお、当該コードが属する中間分類項目が複数存在する場合は、最も大きい単位の分類とする（例２）。

【例１】「A00-A09」（腸管感染症）
「I20-I25」（虚血性心疾患）

【例２】「M00-M25」（関節障害）
「V01-X59」（不慮の事故）
「Y40-Y84」（内科的及び外科的ケアの合併症）

※上記の手順による加工の結果は、個別の対応表を参照のこと。

資料3　死因情報の変換表（新生物）

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
C00.0	外側上唇	C00	口唇の悪性新生物＜腫瘍＞
C00.1	外側下唇	C00	口唇の悪性新生物＜腫瘍＞
C00.2	外側口唇，部位不明	C00	口唇の悪性新生物＜腫瘍＞
C00.3	上唇，内側面	C00	口唇の悪性新生物＜腫瘍＞
C00.4	下唇，内側面	C00	口唇の悪性新生物＜腫瘍＞
C00.5	口唇，部位不明，内側面	C00	口唇の悪性新生物＜腫瘍＞
C00.6	唇交連	C00	口唇の悪性新生物＜腫瘍＞
C00.8	口唇の境界部病巣	C00	口唇の悪性新生物＜腫瘍＞
C00.9	口唇，部位不明	C00	口唇の悪性新生物＜腫瘍＞
C01	舌根＜基底＞部の悪性新生物＜腫瘍＞	C01/C10	舌根＜基底＞部の悪性新生物＜腫瘍＞/中咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C02.0	舌背面	C02	舌のその他及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C02.1	舌縁	C02	舌のその他及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C02.2	舌下面	C02	舌のその他及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C02.3	舌の前３分の２，部位不明	C02	舌のその他及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C02.4	舌扁桃	C02	舌のその他及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C02.8	舌の境界部病巣	C02	舌のその他及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C02.9	舌，部位不明	C02	舌のその他及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C03.0	上顎歯肉	C03	歯肉の悪性新生物＜腫瘍＞
C03.1	下顎歯肉	C03	歯肉の悪性新生物＜腫瘍＞
C03.9	歯肉，部位不明	C03	歯肉の悪性新生物＜腫瘍＞
C04.0	前部口（腔）底	C04	口（腔）底の悪性新生物＜腫瘍＞
C04.1	側部口（腔）底	C04	口（腔）底の悪性新生物＜腫瘍＞
C04.8	口（腔）底の境界部病巣	C04	口（腔）底の悪性新生物＜腫瘍＞
C04.9	口（腔）底，部位不明	C04	口（腔）底の悪性新生物＜腫瘍＞
C05.0	硬口蓋	C05	口蓋の悪性新生物＜腫瘍＞
C05.1	軟口蓋	C05	口蓋の悪性新生物＜腫瘍＞
C05.2	口蓋垂	C05	口蓋の悪性新生物＜腫瘍＞
C05.8	口蓋の境界部病巣	C05	口蓋の悪性新生物＜腫瘍＞
C05.9	口蓋，部位不明	C05	口蓋の悪性新生物＜腫瘍＞
C06.0	頬粘膜	C06	その他及び部位不明の口腔の悪性新生物＜腫瘍＞
C06.1	口腔前庭	C06	その他及び部位不明の口腔の悪性新生物＜腫瘍＞
C06.2	臼後部	C06	その他及び部位不明の口腔の悪性新生物＜腫瘍＞
C06.8	その他及び部位不明の口腔の境界部病巣	C06	その他及び部位不明の口腔の悪性新生物＜腫瘍＞
C06.9	口腔，部位不明	C06	その他及び部位不明の口腔の悪性新生物＜腫瘍＞
C07	耳下腺の悪性新生物＜腫瘍＞	C07/C08	耳下腺の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物＜腫瘍＞
C08.0	顎下腺	C07/C08	耳下腺の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物＜腫瘍＞
C08.1	舌下腺	C07/C08	耳下腺の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物＜腫瘍＞
C08.8	大唾液腺の境界部病巣	C07/C08	耳下腺の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物＜腫瘍＞
C08.9	大唾液腺，部位不明	C07/C08	耳下腺の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物＜腫瘍＞
C09.0	扁桃窩	C09	扁桃の悪性新生物＜腫瘍＞
C09.1	扁桃口蓋弓（前）（後）	C09	扁桃の悪性新生物＜腫瘍＞
C09.8	扁桃の境界部病巣	C09	扁桃の悪性新生物＜腫瘍＞
C09.9	扁桃，部位不明	C09	扁桃の悪性新生物＜腫瘍＞
C10.0	喉頭蓋谷	C01/C10	舌根＜基底＞部の悪性新生物＜腫瘍＞/中咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C10.1	喉頭蓋の前面	C01/C10	舌根＜基底＞部の悪性新生物＜腫瘍＞/中咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C10.2	中咽頭側壁	C01/C10	舌根＜基底＞部の悪性新生物＜腫瘍＞/中咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C10.3	中咽頭後壁	C01/C10	舌根＜基底＞部の悪性新生物＜腫瘍＞/中咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C10.4	鰓裂	C01/C10	舌根＜基底＞部の悪性新生物＜腫瘍＞/中咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C10.8	中咽頭の境界部病巣	C01/C10	舌根＜基底＞部の悪性新生物＜腫瘍＞/中咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C10.9	中咽頭，部位不明	C01/C10	舌根＜基底＞部の悪性新生物＜腫瘍＞/中咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C11.0	鼻＜上＞咽頭上壁	C11	鼻＜上＞咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C11.1	鼻＜上＞咽頭後壁	C11	鼻＜上＞咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C11.2	鼻＜上＞咽頭側壁	C11	鼻＜上＞咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C11.3	鼻＜上＞咽頭前壁	C11	鼻＜上＞咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C11.8	鼻＜上＞咽頭の境界部病巣	C11	鼻＜上＞咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C11.9	鼻＜上＞咽頭，部位不明	C11	鼻＜上＞咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C12	梨状陥凹＜洞＞の悪性新生物＜腫瘍＞	C12/C13	梨状陥凹＜洞＞の悪性新生物＜腫瘍＞/下咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C13.0	後輪状軟骨部	C12/C13	梨状陥凹＜洞＞の悪性新生物＜腫瘍＞/下咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C13.1	披裂喉頭蓋ひだ，下咽頭面	C12/C13	梨状陥凹＜洞＞の悪性新生物＜腫瘍＞/下咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C13.2	下咽頭後壁	C12/C13	梨状陥凹＜洞＞の悪性新生物＜腫瘍＞/下咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C13.8	下咽頭の境界部病巣	C12/C13	梨状陥凹＜洞＞の悪性新生物＜腫瘍＞/下咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞
C13.9	下咽頭，部位不明	C12/C13	梨状陥凹＜洞＞の悪性新生物＜腫瘍＞/下咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
C14.0	咽頭，部位不明	C14/D00.0	その他及び部位不明確の口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，口唇，口腔及び咽頭
C14.2	ワルダイエル＜Waldeyer＞環＜輪＞	C14/D00.0	その他及び部位不明確の口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，口唇，口腔及び咽頭
C14.8	口唇，口腔及び咽頭の境界部病巣	C14/D00.0	その他及び部位不明確の口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，口唇，口腔及び咽頭
C15.0	頸部食道	C15/D00.1	食道の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，食道
C15.1	胸部食道	C15/D00.1	食道の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，食道
C15.2	腹部食道	C15/D00.1	食道の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，食道
C15.3	上部食道	C15/D00.1	食道の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，食道
C15.4	中部食道	C15/D00.1	食道の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，食道
C15.5	下部食道	C15/D00.1	食道の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，食道
C15.8	食道の境界部病巣	C15/D00.1	食道の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，食道
C15.9	食道，部位不明	C15/D00.1	食道の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，食道
C16.0	噴門	C16/D00.2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，胃
C16.1	胃底部	C16/D00.2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，胃
C16.2	胃体部	C16/D00.2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，胃
C16.3	幽門前庭	C16/D00.2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，胃
C16.4	幽門	C16/D00.2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，胃
C16.5	胃小弯，部位不明	C16/D00.2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，胃
C16.6	胃大弯，部位不明	C16/D00.2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，胃
C16.8	胃の境界部病巣	C16/D00.2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，胃
C16.9	胃，部位不明	C16/D00.2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，胃
C17.0	十二指腸	C17	小腸の悪性新生物＜腫瘍＞
C17.1	空腸	C17	小腸の悪性新生物＜腫瘍＞
C17.2	回腸	C17	小腸の悪性新生物＜腫瘍＞
C17.3	メッケル＜Meckel＞憩室	C17	小腸の悪性新生物＜腫瘍＞
C17.8	小腸の境界部病巣	C17	小腸の悪性新生物＜腫瘍＞
C17.9	小腸，部位不明	C17	小腸の悪性新生物＜腫瘍＞
C18.0	盲腸	C18/D01.0	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，結腸
C18.1	虫垂	C18/D01.0	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，結腸
C18.2	上行結腸	C18/D01.0	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，結腸
C18.3	右結腸曲＜肝弯曲＞	C18/D01.0	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，結腸
C18.4	横行結腸	C18/D01.0	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，結腸
C18.5	左結腸曲＜脾弯曲＞	C18/D01.0	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，結腸
C18.6	下行結腸	C18/D01.0	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，結腸
C18.7	S状結腸	C18/D01.0	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，結腸
C18.8	結腸の境界部病巣	C18/D01.0	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，結腸
C18.9	結腸，部位不明	C18/D01.0	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，結腸
C19	直腸S状結腸移行部の悪性新生物＜腫瘍＞	C19/D01.1	直腸S状結腸移行部の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，直腸Ｓ状結腸移行部
C20	直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	C20/D01.2	直腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，直腸
C21.0	肛門，部位不明	C21/D01.3	肛門及び肛門管の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，肛門及び肛門管
C21.1	肛門管	C21/D01.3	肛門及び肛門管の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，肛門及び肛門管
C21.2	総排泄腔由来部	C21/D01.3	肛門及び肛門管の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，肛門及び肛門管
C21.8	直腸，肛門及び肛門管の境界部病巣	C21/D01.3	肛門及び肛門管の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，肛門及び肛門管
C22.0	肝細胞癌	C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞
C22.1	肝内胆管癌	C23	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞
C22.2	肝芽（細胞）腫	C24	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞
C22.3	肝血管肉腫	C25	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞
C22.4	その他の肝の肉腫	C26	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞
C22.7	その他の明示された肝の癌（腫）	C27	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞
C22.9	肝，詳細不明	C28	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞
C23	胆のう＜嚢＞の悪性新生物＜腫瘍＞	C23/C24	胆のう＜嚢＞の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞
C24.0	肝外胆管	C23/C24	胆のう＜嚢＞の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞
C24.1	ファーター＜Vater＞乳頭膨大部	C23/C24	胆のう＜嚢＞の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞
C24.8	胆道の境界部病巣	C23/C24	胆のう＜嚢＞の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞
C24.9	胆道，部位不明	C23/C24	胆のう＜嚢＞の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞
C25.0	膵頭部	C25	膵の悪性新生物＜腫瘍＞

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
C25.1	膵体部	C25	膵の悪性新生物＜腫瘍＞
C25.2	膵尾部	C25	膵の悪性新生物＜腫瘍＞
C25.3	膵管	C25	膵の悪性新生物＜腫瘍＞
C25.4	内分泌膵	C25	膵の悪性新生物＜腫瘍＞
C25.7	膵のその他の部位	C25	膵の悪性新生物＜腫瘍＞
C25.8	膵の境界部病巣	C25	膵の悪性新生物＜腫瘍＞
C25.9	膵，部位不明	C25	膵の悪性新生物＜腫瘍＞
C26.0	腸管，部位不明	C26/D01.4/D01.5/D01.7/D01.9	その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌（その他及び部位不明の腸/肝，胆のう<嚢>及び胆管/その他の明示された消化器/消化器，部位不明）
C26.1	脾	C26/D01.4/D01.5/D01.7/D01.9	その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌（その他及び部位不明の腸/肝，胆のう<嚢>及び胆管/その他の明示された消化器/消化器，部位不明）
C26.8	消化器系の境界部病巣	C26/D01.4/D01.5/D01.7/D01.9	その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌（その他及び部位不明の腸/肝，胆のう<嚢>及び胆管/その他の明示された消化器/消化器，部位不明）
C26.9	消化器系，部位不明確	C26/D01.4/D01.5/D01.7/D01.9	その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌（その他及び部位不明の腸/肝，胆のう<嚢>及び胆管/その他の明示された消化器/消化器，部位不明）
C30.0	鼻腔	C30	鼻腔及び中耳の悪性新生物＜腫瘍＞
C30.1	中耳	C30	鼻腔及び中耳の悪性新生物＜腫瘍＞
C31.0	上顎洞	C31	副鼻腔の悪性新生物＜腫瘍＞
C31.1	篩骨洞	C31	副鼻腔の悪性新生物＜腫瘍＞
C31.2	前頭洞	C31	副鼻腔の悪性新生物＜腫瘍＞
C31.3	蝶形骨洞	C31	副鼻腔の悪性新生物＜腫瘍＞
C31.8	副鼻腔の境界部病巣	C31	副鼻腔の悪性新生物＜腫瘍＞
C31.9	副鼻腔，部位不明	C31	副鼻腔の悪性新生物＜腫瘍＞
C32.0	声門	C32/D02.0	喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，喉頭
C32.1	声門上部	C32/D02.0	喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，喉頭
C32.2	声門下部	C32/D02.0	喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，喉頭
C32.3	喉頭軟骨	C32/D02.0	喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，喉頭
C32.8	喉頭の境界部病巣	C32/D02.0	喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，喉頭
C32.9	喉頭，部位不明	C32/D02.0	喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，喉頭
C33	気管の悪性新生物＜腫瘍＞	C33/D02.1	気管の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，気管
C34.0	主気管支	C34/D02.2	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，気管支及び肺
C34.1	上葉，気管支又は肺	C34/D02.2	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，気管支及び肺
C34.2	中葉，気管支又は肺	C34/D02.2	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，気管支及び肺
C34.3	下葉，気管支又は肺	C34/D02.2	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，気管支及び肺
C34.8	気管支及び肺の境界部病巣	C34/D02.2	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，気管支及び肺
C34.9	気管支又は肺，部位不明	C34/D02.2	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，気管支及び肺
C37	胸腺の悪性新生物＜腫瘍＞	C37/D38.4	胸腺の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳，呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，胸腺
C38.0	心臓	C38	心臓，縦隔及び胸膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C38.1	前縦隔	C38	心臓，縦隔及び胸膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C38.2	後縦隔	C38	心臓，縦隔及び胸膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C38.3	縦隔，部位不明	C38	心臓，縦隔及び胸膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C38.4	胸膜	C38	心臓，縦隔及び胸膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C38.8	心臓，縦隔及び胸膜の境界部病巣	C38	心臓，縦隔及び胸膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C39.0	上気道，部位不明	C39/D02.3/D02.4	その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌（中耳及び呼吸器系のその他の部位/呼吸器系，部位不明）
C39.8	呼吸器及び胸腔内臓器の境界部病巣	C39/D02.3/D02.4	その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌（中耳及び呼吸器系のその他の部位/呼吸器系，部位不明）
C39.9	呼吸器系，部位不明確	C39/D02.3/D02.4	その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌（中耳及び呼吸器系のその他の部位/呼吸器系，部位不明）
C40.0	肩甲骨及び上肢の長骨	C40	（四）肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞
C40.1	上肢の短骨	C40	（四）肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞
C40.2	下肢の長骨	C40	（四）肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞
C40.3	下肢の短骨	C40	（四）肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞
C40.8	（四）肢の骨及び関節軟骨の境界部病巣	C40	（四）肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞
C40.9	（四）肢の骨及び関節軟骨，部位不明	C40	（四）肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞
C41.0	頭蓋骨及び顔面骨	C41	その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞
C41.1	下顎	C41	その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞
C41.2	脊柱	C41	その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
C41.3	肋骨，胸骨及び鎖骨	C41	その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞
C41.4	骨盤骨，仙骨及び尾骨	C41	その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞
C41.8	骨及び関節軟骨の境界部病巣	C41	その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞
C41.9	骨及び関節軟骨，部位不明	C41	その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞
C43.0	口唇の悪性黒色腫	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
C43.1	眼瞼の悪性黒色腫，眼角を含む	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
C43.2	耳及び外耳道の悪性黒色腫	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
C43.3	その他及び部位不明の顔面の悪性黒色腫	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
C43.4	頭皮及び頸部の悪性黒色腫	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
C43.5	体幹の悪性黒色腫	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
C43.6	上肢の悪性黒色腫，肩を含む	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
C43.7	下肢の悪性黒色腫，股関節部を含む	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
C43.8	皮膚境界部悪性黒色腫	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
C43.9	皮膚の悪性黒色腫，部位不明	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
C44.0	口唇の皮膚	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
C44.1	眼瞼の皮膚，眼角を含む	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
C44.2	耳及び外耳道の皮膚	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
C44.3	その他及び部位不明の顔面の皮膚	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
C44.4	頭皮及び頸部の皮膚	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
C44.5	体幹の皮膚	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
C44.6	上肢の皮膚，肩を含む	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
C44.7	下肢の皮膚，股関節部を含む	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
C44.8	皮膚の境界部病巣	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
C44.9	皮膚の悪性新生物＜腫瘍＞，部位不明	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
C45.0	胸膜中皮腫	C45	中皮腫
C45.1	腹膜中皮腫	C45	中皮腫
C45.2	心膜中皮腫	C45	中皮腫
C45.7	その他の部位の中皮腫	C45	中皮腫
C45.9	中皮腫，部位不明	C45	中皮腫
C46.0	皮膚のカポジ＜Kaposi＞肉腫	C46	カポジ＜Kaposi＞肉腫
C46.1	軟部組織のカポジ＜Kaposi＞肉腫	C46	カポジ＜Kaposi＞肉腫
C46.2	口蓋のカポジ＜Kaposi＞肉腫	C46	カポジ＜Kaposi＞肉腫
C46.3	リンパ節のカポジ＜Kaposi＞肉腫	C46	カポジ＜Kaposi＞肉腫
C46.7	その他の部位のカポジ＜Kaposi＞肉腫	C46	カポジ＜Kaposi＞肉腫
C46.8	多臓器のカポジ＜Kaposi＞肉腫	C46	カポジ＜Kaposi＞肉腫
C46.9	カポジ＜Kaposi＞肉腫，部位不明	C46	カポジ＜Kaposi＞肉腫
C47.0	頭部，顔面及び頸部の末梢神経	C47	末梢神経及び自律神経系の悪性新生物＜腫瘍＞
C47.1	上肢の末梢神経，肩を含む	C47	末梢神経及び自律神経系の悪性新生物＜腫瘍＞
C47.2	下肢の末梢神経，股関節部を含む	C47	末梢神経及び自律神経系の悪性新生物＜腫瘍＞
C47.3	胸部＜郭＞の末梢神経	C47	末梢神経及び自律神経系の悪性新生物＜腫瘍＞
C47.4	腹部の末梢神経	C47	末梢神経及び自律神経系の悪性新生物＜腫瘍＞
C47.5	骨盤の末梢神経	C47	末梢神経及び自律神経系の悪性新生物＜腫瘍＞
C47.6	体幹の末梢神経，部位不明	C47	末梢神経及び自律神経系の悪性新生物＜腫瘍＞
C47.8	末梢神経及び自律神経系の境界部病巣	C47	末梢神経及び自律神経系の悪性新生物＜腫瘍＞
C47.9	末梢神経及び自律神経系，部位不明	C47	末梢神経及び自律神経系の悪性新生物＜腫瘍＞
C48.0	後腹膜	C48	後腹膜及び腹膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C48.1	腹膜の明示された部位	C48	後腹膜及び腹膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C48.2	腹膜，部位不明	C48	後腹膜及び腹膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C48.8	後腹膜及び腹膜の境界部病巣	C48	後腹膜及び腹膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C49.0	頭部，顔面及び頸部の結合組織及び軟部組織	C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞
C49.1	上肢の結合組織及び軟部組織，肩を含む	C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞
C49.2	下肢の結合組織及び軟部組織，股関節部を含む	C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞
C49.3	胸部＜郭＞の結合組織及び軟部組織	C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞
C49.4	腹部の結合組織及び軟部組織	C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞
C49.5	骨盤の結合組織及び軟部組織	C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞
C49.6	体幹の結合組織及び軟部組織，部位不明	C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞
C49.8	結合組織及び軟部組織の境界部病巣	C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞
C49.9	結合組織及び軟部組織，部位不明	C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞
C50.0	乳頭部及び乳輪	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌
C50.1	乳房中央部	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌
C50.2	乳房上内側４分の１	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌
C50.3	乳房下内側４分の１	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌
C50.4	乳房上外側４分の１	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
C50.5	乳房下外側４分の１	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌
C50.6	乳腺腋窩尾部＜Axillary tail of breast＞	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌
C50.8	乳房の境界部病巣	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌
C50.9	乳房，部位不明	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌
C51.0	大陰唇	C51/D07.1	外陰（部）の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，外陰部
C51.1	小陰唇	C51/D07.1	外陰（部）の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，外陰部
C51.2	陰核	C51/D07.1	外陰（部）の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，外陰部
C51.8	外陰（部）の境界部病巣	C51/D07.1	外陰（部）の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，外陰部
C51.9	外陰（部），部位不明	C51/D07.1	外陰（部）の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，外陰部
C52	膣の悪性新生物＜腫瘍＞	C52/D07.2	膣の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，膣
C53.0	子宮頸内膜＜endocervix＞	C53/D06	子宮頸部の悪性新生物＜腫瘍＞/子宮頸（部）の上皮内癌
C53.1	子宮頸外部＜exocervix＞	C53/D06	子宮頸部の悪性新生物＜腫瘍＞/子宮頸（部）の上皮内癌
C53.8	子宮頸（部）の境界部病巣	C53/D06	子宮頸部の悪性新生物＜腫瘍＞/子宮頸（部）の上皮内癌
C53.9	子宮頸（部），部位不明	C53/D06	子宮頸部の悪性新生物＜腫瘍＞/子宮頸（部）の上皮内癌
C54.0	子宮峡部	C54/D07.0	子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，子宮内膜
C54.1	子宮内膜	C54/D07.0	子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，子宮内膜
C54.2	子宮筋層	C54/D07.0	子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，子宮内膜
C54.3	子宮底	C54/D07.0	子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，子宮内膜
C54.8	子宮体部の境界部病巣	C54/D07.0	子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，子宮内膜
C54.9	子宮体部，部位不明	C54/D07.0	子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，子宮内膜
C55	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞，部位不明	C55/D39.0	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞，部位不明/女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，子宮
C56	卵巣の悪性新生物＜腫瘍＞	C56/D39.1	卵巣の悪性新生物＜腫瘍＞/女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，卵巣
C57.0	卵管	C57/D07.3	その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の女性生殖器
C57.1	子宮広間膜＜靱帯＞	C57/D07.3	その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の女性生殖器
C57.2	子宮円索＜靱帯＞	C57/D07.3	その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の女性生殖器
C57.3	子宮傍（結合）組織	C57/D07.3	その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の女性生殖器
C57.4	子宮付属器，部位不明	C57/D07.3	その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の女性生殖器
C57.7	その他の明示された女性生殖器	C57/D07.3	その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の女性生殖器
C57.8	女性生殖器の境界部病巣	C57/D07.3	その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の女性生殖器
C57.9	女性生殖器，部位不明	C57/D07.3	その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の女性生殖器
C58	胎盤の悪性新生物＜腫瘍＞	C58/D39.2	胎盤の悪性新生物＜腫瘍＞/女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，胎盤
C60.0	包皮	C60/D07.4	陰茎の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，陰茎
C60.1	亀頭	C60/D07.4	陰茎の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，陰茎
C60.2	陰茎体部	C60/D07.4	陰茎の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，陰茎
C60.8	陰茎の境界部病巣	C60/D07.4	陰茎の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，陰茎
C60.9	陰茎，部位不明	C60/D07.4	陰茎の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，陰茎
C61	前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	C61/D07.5	前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，前立腺
C62.0	停留精巣＜睾丸＞	C62	精巣＜睾丸＞の悪性新生物＜腫瘍＞
C62.1	下降精巣＜睾丸＞	C62	精巣＜睾丸＞の悪性新生物＜腫瘍＞
C62.9	精巣＜睾丸＞，部位不明	C62	精巣＜睾丸＞の悪性新生物＜腫瘍＞
C63.0	精巣上体＜副睾丸＞	C63/D07.6	その他及び部位不明の男性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の男性生殖器
C63.1	精索	C63/D07.6	その他及び部位不明の男性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の男性生殖器
C63.2	陰のう＜嚢＞	C63/D07.6	その他及び部位不明の男性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の男性生殖器
C63.7	その他の明示された男性生殖器	C63/D07.6	その他及び部位不明の男性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の男性生殖器
C63.8	男性生殖器の境界部病巣	C63/D07.6	その他及び部位不明の男性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の男性生殖器
C63.9	男性生殖器，部位不明	C63/D07.6	その他及び部位不明の男性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の男性生殖器
C64	腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞	C64/D41.0	腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞/腎尿路の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，腎
C65	腎盂の悪性新生物＜腫瘍＞	C65/D41.1	腎盂の悪性新生物＜腫瘍＞/腎尿路の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，腎盂

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
C66	尿管の悪性新生物＜腫瘍＞	C66/D41.2	尿管の悪性新生物＜腫瘍＞/腎尿路の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，尿管
C67.0	膀胱三角	C67/D09.0	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，膀胱
C67.1	膀胱円蓋	C67/D09.0	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，膀胱
C67.2	膀胱側壁	C67/D09.0	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，膀胱
C67.3	膀胱前壁	C67/D09.0	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，膀胱
C67.4	膀胱後壁	C67/D09.0	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，膀胱
C67.5	膀胱頸部	C67/D09.0	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，膀胱
C67.6	尿管口	C67/D09.0	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，膀胱
C67.7	尿膜管	C67/D09.0	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，膀胱
C67.8	膀胱の境界部病巣	C67/D09.0	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，膀胱
C67.9	膀胱，部位不明	C67/D09.0	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，膀胱
C68.0	尿道	C68/D09.1	その他及び部位不明の尿路の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，その他及び部位不明の腎尿路
C68.1	尿道傍腺	C68/D09.1	その他及び部位不明の尿路の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，その他及び部位不明の腎尿路
C68.8	腎尿路の境界部病巣	C68/D09.1	その他及び部位不明の尿路の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，その他及び部位不明の腎尿路
C68.9	尿路，部位不明	C68/D09.1	その他及び部位不明の尿路の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，その他及び部位不明の腎尿路
C69.0	結膜	C69/D09.2	眼及び付属器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，眼
C69.1	角膜	C69/D09.2	眼及び付属器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，眼
C69.2	網膜	C69/D09.2	眼及び付属器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，眼
C69.3	脈絡膜	C69/D09.2	眼及び付属器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，眼
C69.4	毛様体	C69/D09.2	眼及び付属器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，眼
C69.5	涙腺及び涙管	C69/D09.2	眼及び付属器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，眼
C69.6	眼窩	C69/D09.2	眼及び付属器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，眼
C69.8	眼及び付属器の境界部病巣	C69/D09.2	眼及び付属器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，眼
C69.9	眼，部位不明	C69/D09.2	眼及び付属器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，眼
C70.0	脳髄膜	C70	髄膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C70.1	脊髄膜	C70	髄膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C70.9	髄膜，部位不明	C70	髄膜の悪性新生物＜腫瘍＞
C71.0	脳葉及び脳室を除く大脳	C71	脳の悪性新生物＜腫瘍＞
C71.1	前頭葉	C71	脳の悪性新生物＜腫瘍＞
C71.2	側頭葉	C71	脳の悪性新生物＜腫瘍＞
C71.3	頭頂葉	C71	脳の悪性新生物＜腫瘍＞
C71.4	後頭葉	C71	脳の悪性新生物＜腫瘍＞
C71.5	脳室	C71	脳の悪性新生物＜腫瘍＞
C71.6	小脳	C71	脳の悪性新生物＜腫瘍＞
C71.7	脳幹	C71	脳の悪性新生物＜腫瘍＞
C71.8	脳の境界部病巣	C71	脳の悪性新生物＜腫瘍＞
C71.9	脳，部位不明	C71	脳の悪性新生物＜腫瘍＞
C72.0	脊髄	C72	脊髄，脳神経及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物＜腫瘍＞
C72.1	馬尾	C72	脊髄，脳神経及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物＜腫瘍＞
C72.2	嗅神経	C72	脊髄，脳神経及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物＜腫瘍＞
C72.3	視神経	C72	脊髄，脳神経及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物＜腫瘍＞
C72.4	聴神経	C72	脊髄，脳神経及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物＜腫瘍＞
C72.5	その他及び部位不明の脳神経	C72	脊髄，脳神経及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物＜腫瘍＞
C72.8	脳及び中枢神経系のその他の部位の境界部病巣	C72	脊髄，脳神経及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物＜腫瘍＞
C72.9	中枢神経系，部位不明	C72	脊髄，脳神経及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物＜腫瘍＞
C73	甲状腺の悪性新生物＜腫瘍＞	C73/D44.0	甲状腺の悪性新生物＜腫瘍＞/内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，甲状腺
C74.0	副腎皮質	C74	副腎の悪性新生物＜腫瘍＞
C74.1	副腎髄質	C74	副腎の悪性新生物＜腫瘍＞
C74.9	副腎，部位不明	C74	副腎の悪性新生物＜腫瘍＞
C75.0	上皮小体＜副甲状腺＞	C75/D09.3	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，甲状腺及びその他の内分泌腺
C75.1	下垂体	C75/D09.3	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，甲状腺及びその他の内分泌腺
C75.2	頭蓋咽頭管	C75/D09.3	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，甲状腺及びその他の内分泌腺
C75.3	松果体	C75/D09.3	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，甲状腺及びその他の内分泌腺
C75.4	頸動脈小体	C75/D09.3	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，甲状腺及びその他の内分泌腺

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
C75.5	大動脈小体及びその他のパラガングリア＜傍神経節＞	C75/D09.3	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，甲状腺及びその他の内分泌腺
C75.8	複数の内分泌腺，部位不明	C75/D09.3	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，甲状腺及びその他の内分泌腺
C75.9	内分泌腺，部位不明	C75/D09.3	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，甲状腺及びその他の内分泌腺
C76.0	頭部，顔面及び頸部	C76/D09.7/D09.9	その他及び部位不明確の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌（その他の明示された部位の上皮内癌/上皮内癌，部位不明）
C76.1	胸部＜郭＞	C76/D09.7/D09.9	その他及び部位不明確の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌（その他の明示された部位の上皮内癌/上皮内癌，部位不明）
C76.2	腹部	C76/D09.7/D09.9	その他及び部位不明確の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌（その他の明示された部位の上皮内癌/上皮内癌，部位不明）
C76.3	骨盤	C76/D09.7/D09.9	その他及び部位不明確の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌（その他の明示された部位の上皮内癌/上皮内癌，部位不明）
C76.4	上肢	C76/D09.7/D09.9	その他及び部位不明確の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌（その他の明示された部位の上皮内癌/上皮内癌，部位不明）
C76.5	下肢	C76/D09.7/D09.9	その他及び部位不明確の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌（その他の明示された部位の上皮内癌/上皮内癌，部位不明）
C76.7	その他の不明確な部位	C76/D09.7/D09.9	その他及び部位不明確の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌（その他の明示された部位の上皮内癌/上皮内癌，部位不明）
C76.8	その他及び部位不明確の境界部病巣	C76/D09.7/D09.9	その他及び部位不明確の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌（その他の明示された部位の上皮内癌/上皮内癌，部位不明）
C77.0	頭部，顔面及び頸部リンパ節	C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C77.1	胸腔内リンパ節	C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C77.2	腹腔内リンパ節	C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C77.3	腋窩及び上肢リンパ節	C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C77.4	そけい＜鼠径＞及び下肢リンパ節	C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C77.5	骨盤内リンパ節	C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C77.8	多部位のリンパ節	C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C77.9	リンパ節，部位不明	C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C78.0	肺の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C78.1	縦隔の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C78.2	胸膜の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C78.3	中耳並びにその他及び部位不明の呼吸器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C78.4	小腸の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C78.5	大腸及び直腸の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C78.6	後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C78.7	肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C78.8	その他及び部位不明の消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C79.0	腎及び腎盂の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C79.1	膀胱並びにその他及び部位不明の尿路の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C79.2	皮膚の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C79.3	脳及び脳髄膜の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C79.4	その他及び部位不明の中枢神経系の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C79.5	骨及び骨髄の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C79.6	卵巣の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C79.7	副腎の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C79.8	その他の明示された部位の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C79.9	続発性悪性新生物＜腫瘍＞，部位不明	C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞
C80.0	悪性新生物＜腫瘍＞，原発部位不明と記載されたもの	C80/C97	悪性新生物＜腫瘍＞，部位が明示されていないもの/独立した（原発性）多部位の悪性新生物＜腫瘍＞
C80.9	悪性新生物＜腫瘍＞，原発部位詳細不明	C80/C97	悪性新生物＜腫瘍＞，部位が明示されていないもの/独立した（原発性）多部位の悪性新生物＜腫瘍＞
C81.0	結節性リンパ球優勢型ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫	C81	ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫
C81.1	結節硬化型（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫	C81	ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫
C81.2	混合細胞型（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫	C81	ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫
C81.3	リンパ球減少型（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫	C81	ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
C81.4	リンパ球豊富型（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫	C81	ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫
C81.7	その他の（古典的）ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫	C81	ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫
C81.9	ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫，詳細不明	C81	ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫
C82.0	ろ＜濾＞胞性リンパ腫グレードⅠ	C82	ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C82.1	ろ＜濾＞胞性リンパ腫グレードⅡ	C82	ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C82.2	ろ＜濾＞胞性リンパ腫グレードⅢ，詳細不明	C82	ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C82.3	ろ＜濾＞胞性リンパ腫グレードⅢa	C82	ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C82.4	ろ＜濾＞胞性リンパ腫グレードⅢb	C82	ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C82.5	びまん性ろ＜濾＞胞中心リンパ腫	C82	ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C82.6	皮膚ろ＜濾＞胞中心リンパ腫	C82	ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C82.7	ろ＜濾＞胞性リンパ腫のその他の型	C82	ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C82.9	ろ＜濾＞胞性リンパ腫，詳細不明	C82	ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C83.0	小細胞型B細胞性リンパ腫	C83	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C83.1	マントル細胞リンパ腫	C83	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C83.3	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	C83	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C83.5	リンパ芽球性（びまん性）リンパ腫	C83	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C83.7	バーキット＜Burkitt＞リンパ腫	C83	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C83.8	その他の非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	C83	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C83.9	非ろ＜濾＞胞性（びまん性）リンパ腫，詳細不明	C83	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫
C84.0	菌状息肉症	C84	成熟T/NK細胞リンパ腫
C84.1	セザリー＜Sézary＞病	C84	成熟T/NK細胞リンパ腫
C84.4	末梢性T細胞リンパ腫，他に分類されないもの	C84	成熟T/NK細胞リンパ腫
C84.5	その他の成熟T/NK細胞リンパ腫	C84	成熟T/NK細胞リンパ腫
C84.6	未分化大細胞型リンパ腫，ALK陽性	C84	成熟T/NK細胞リンパ腫
C84.7	未分化大細胞型リンパ腫，ALK陰性	C84	成熟T/NK細胞リンパ腫
C84.8	皮膚T細胞リンパ腫，詳細不明	C84	成熟T/NK細胞リンパ腫
C84.9	成熟T/NK細胞リンパ腫，詳細不明	C84	成熟T/NK細胞リンパ腫
C85.1	B細胞性リンパ腫，詳細不明	C85	非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫のその他及び詳細不明の型
C85.2	縦隔（胸腺）大細胞型B細胞性リンパ腫	C85	非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫のその他及び詳細不明の型
C85.7	非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫のその他の明示された型	C85	非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫のその他及び詳細不明の型
C85.9	非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫，詳細不明	C85	非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫のその他及び詳細不明の型
C86.0	節外性NK/T細胞リンパ腫，鼻型	C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型
C86.1	肝脾T細胞リンパ腫	C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型
C86.2	腸症＜腸管＞型T細胞リンパ腫	C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型
C86.3	皮下脂肪組織炎様T細胞リンパ腫	C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型
C86.4	芽球性NK細胞リンパ腫	C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型
C86.5	血管免疫芽球性T細胞リンパ腫	C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型
C86.6	原発性皮膚CD30陽性T細胞増殖	C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型
C88.0	ワルデンシュトレーム＜Waldenström＞マクログロブリン血症	C88	悪性免疫増殖性疾患
C88.2	その他のH＜重＞鎖病	C88	悪性免疫増殖性疾患
C88.3	免疫増殖性小腸疾患	C88	悪性免疫増殖性疾患
C88.4	節外性粘膜関連リンパ組織辺縁帯B細胞性リンパ腫［MALTリンパ腫］	C88	悪性免疫増殖性疾患
C88.7	その他の悪性免疫増殖性疾患	C88	悪性免疫増殖性疾患
C88.9	悪性免疫増殖性疾患，詳細不明	C88	悪性免疫増殖性疾患
C90.0	多発性骨髄腫	C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物＜腫瘍＞
C90.1	形質細胞性白血病	C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物＜腫瘍＞
C90.2	髄外（性）形質細胞腫	C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物＜腫瘍＞
C90.3	孤立性形質細胞腫	C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物＜腫瘍＞
C91.0	急性リンパ芽球性白血病［ALL］	C91	リンパ性白血病
C91.1	B細胞性慢性リンパ球性白血病	C91	リンパ性白血病
C91.3	B細胞性前リンパ性白血病	C91	リンパ性白血病
C91.4	毛様細胞性＜hairy-cell＞白血病	C91	リンパ性白血病
C91.5	成人T細胞リンパ腫／白血病［HTLV-1関連］	C91	リンパ性白血病
C91.6	T細胞性前リンパ性白血病	C91	リンパ性白血病
C91.7	その他のリンパ性白血病	C91	リンパ性白血病
C91.8	成熟B細胞性白血病バーキット＜Burkitt＞型	C91	リンパ性白血病
C91.9	リンパ性白血病，詳細不明	C91	リンパ性白血病
C92.0	急性骨髄芽球性白血病［AML］	C92	骨髄性白血病
C92.1	慢性骨髄性白血病［CML］，BCR/ABL陽性	C92	骨髄性白血病

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
C92.2	非定型慢性骨髄性白血病，BCR/ABL陰性	C92	骨髄性白血病
C92.3	骨髄性肉腫	C92	骨髄性白血病
C92.4	急性前骨髄球性白血病［PML］	C92	骨髄性白血病
C92.5	急性骨髄単球性白血病	C92	骨髄性白血病
C92.6	11q23異常を伴う急性骨髄性白血病	C92	骨髄性白血病
C92.7	その他の骨髄性白血病	C92	骨髄性白血病
C92.8	多系統異形成を伴う急性骨髄性白血病	C92	骨髄性白血病
C92.9	骨髄性白血病，詳細不明	C92	骨髄性白血病
C93.0	急性単芽球性／単球性白血病	C93	単球性白血病
C93.1	慢性骨髄単球性白血病	C93	単球性白血病
C93.3	若年性骨髄単球性白血病	C93	単球性白血病
C93.7	その他の単球性白血病	C93	単球性白血病
C93.9	単球性白血病，詳細不明	C93	単球性白血病
C94.0	急性赤白血病	C94	細胞型の明示されたその他の白血病
C94.2	急性巨核芽球性白血病	C94	細胞型の明示されたその他の白血病
C94.3	肥満細胞白血病	C94	細胞型の明示されたその他の白血病
C94.4	骨髄線維症を伴う急性汎骨髄症	C94	細胞型の明示されたその他の白血病
C94.6	骨髄異形成及び骨髄増殖性疾患，他に分類されないもの	C94	細胞型の明示されたその他の白血病
C94.7	その他の明示された白血病	C94	細胞型の明示されたその他の白血病
C95.0	細胞型不明の急性白血病	C95	細胞型不明の白血病
C95.1	細胞型不明の慢性白血病	C95	細胞型不明の白血病
C95.7	細胞型不明のその他の白血病	C95	細胞型不明の白血病
C95.9	白血病，詳細不明	C95	細胞型不明の白血病
C96.0	多病巣性及び多臓器型（播種性）ランゲルハンス＜Langerhans＞細胞組織球症［レットレル・ジーベ＜Letterer-Siwe＞病］	C96	リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C96.2	悪性肥満細胞腫	C96	リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C96.4	樹状細胞（補助細胞）肉腫	C96	リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C96.5	多病巣性及び単一臓器型ランゲルハンス＜Langerhans＞細胞組織球症	C96	リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C96.6	単局性ランゲルハンス＜Langerhans＞細胞組織球症	C96	リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C96.7	リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他の明示された悪性新生物＜腫瘍＞	C96	リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C96.8	組織球性肉腫	C96	リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C96.9	リンパ組織，造血組織及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞，詳細不明	C96	リンパ組織，造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物＜腫瘍＞
C97	独立した（原発性）多部位の悪性新生物＜腫瘍＞	C80/C97	悪性新生物＜腫瘍＞，部位が明示されていないもの/独立した（原発性）多部位の悪性新生物＜腫瘍＞
D00.0	口唇，口腔及び咽頭	C14/D00.0	その他及び部位不明確の口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，口唇，口腔及び咽頭
D00.1	食道	C15/D00.1	食道の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，食道
D00.2	胃	C16/D00.2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞/口腔，食道及び胃の上皮内癌，胃
D01.0	結腸	C18/D01.0	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，結腸
D01.1	直腸S状結腸移行部	C19/D01.1	直腸S状結腸移行部の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，直腸Ｓ状結腸移行部
D01.2	直腸	C20/D01.2	直腸の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，直腸
D01.3	肛門及び肛門管	C21/D01.3	肛門及び肛門管の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌，肛門及び肛門管
D01.4	その他及び部位不明の腸	C26/D01.4/D01.5/D01.7/D01.9	その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌（その他及び部位不明の腸/肝，胆のう＜嚢＞及び胆管/その他の明示された消化器/消化器，部位不明）
D01.5	肝，胆のう＜嚢＞及び胆管	C26/D01.4/D01.5/D01.7/D01.9	その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌（その他及び部位不明の腸/肝，胆のう＜嚢＞及び胆管/その他の明示された消化器/消化器，部位不明）
D01.7	その他の明示された消化器	C26/D01.4/D01.5/D01.7/D01.9	その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌（その他及び部位不明の腸/肝，胆のう＜嚢＞及び胆管/その他の明示された消化器/消化器，部位不明）
D01.9	消化器，部位不明	C26/D01.4/D01.5/D01.7/D01.9	その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の消化器の上皮内癌（その他及び部位不明の腸/肝，胆のう＜嚢＞及び胆管/その他の明示された消化器/消化器，部位不明）
D02.0	喉頭	C32/D02.0	喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，喉頭
D02.1	気管	C33/D02.1	気管の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，気管
D02.2	気管支及び肺	C34/D02.2	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌，気管支及び肺

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
D02.3	中耳及び呼吸器系のその他の部位	C39/D02.3/D02.4	その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌（中耳及び呼吸器系のその他の部位/呼吸器系，部位不明）
D02.4	呼吸器系，部位不明	C39/D02.3/D02.4	その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳及び呼吸器系の上皮内癌（中耳及び呼吸器系のその他の部位/呼吸器系，部位不明）
D03.0	口唇の上皮内黒色腫	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
D03.1	眼瞼の上皮内黒色腫，眼角を含む	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
D03.2	耳及び外耳道の上皮内黒色腫	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
D03.3	その他及び部位不明の顔面の上皮内黒色腫	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
D03.4	頭皮及び頸部の上皮内黒色腫	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
D03.5	体幹の上皮内黒色腫	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
D03.6	上肢の上皮内黒色腫，肩を含む	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
D03.7	下肢の上皮内黒色腫，股関節部を含む	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
D03.8	その他の部位の上皮内黒色腫	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
D03.9	上皮内黒色腫，部位不明	C43/D03	皮膚の悪性黒色腫/上皮内黒色腫
D04.0	口唇の皮膚	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
D04.1	眼瞼の皮膚，眼角を含む	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
D04.2	耳及び外耳道の皮膚	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
D04.3	その他及び部位不明の顔面の皮膚	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
D04.4	頭皮及び頸部の皮膚	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
D04.5	体幹の皮膚	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
D04.6	上肢の皮膚，肩を含む	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
D04.7	下肢の皮膚，股関節部を含む	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
D04.8	その他の部位の皮膚	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
D04.9	皮膚，部位不明	C44/D04	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞/皮膚の上皮内癌
D05.0	小葉の上皮内癌	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌
D05.1	乳管内の上皮内癌	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌
D05.7	乳房のその他の上皮内癌	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌
D05.9	乳房の上皮内癌，部位不明	C50/D05	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞/乳房の上皮内癌
D06.0	子宮頸内膜＜endocervix＞	C53/D06	子宮頸部の悪性新生物＜腫瘍＞/子宮頸（部）の上皮内癌
D06.1	子宮外頸部＜exocervix＞	C53/D06	子宮頸部の悪性新生物＜腫瘍＞/子宮頸（部）の上皮内癌
D06.7	子宮頸（部）のその他の部位	C53/D06	子宮頸部の悪性新生物＜腫瘍＞/子宮頸（部）の上皮内癌
D06.9	子宮頸（部），部位不明	C53/D06	子宮頸部の悪性新生物＜腫瘍＞/子宮頸（部）の上皮内癌
D07.0	子宮内膜	C54/D07.0	子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，子宮内膜
D07.1	外陰部	C51/D07.1	外陰（部）の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，外陰部
D07.2	膣	C52/D07.2	膣の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，膣
D07.3	その他及び部位不明の女性生殖器	C57/D07.3	その他及び部位不明の女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の女性生殖器
D07.4	陰茎	C60/D07.4	陰茎の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，陰茎
D07.5	前立腺	C61/D07.5	前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，前立腺
D07.6	その他及び部位不明の男性生殖器	C63/D07.6	その他及び部位不明の男性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌，その他及び部位不明の男性生殖器
D09.0	膀胱	C67/D09.0	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，膀胱
D09.1	その他及び部位不明の腎尿路	C68/D09.1	その他及び部位不明の尿路の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，その他及び部位不明の腎尿路
D09.2	眼	C69/D09.2	眼及び付属器の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，眼
D09.3	甲状腺及びその他の内分泌腺	C75/D09.3	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌，甲状腺及びその他の内分泌腺
D09.7	その他の明示された部位の上皮内癌	C76/D09.7/D09.9	その他及び部位不明確の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌（その他の明示された部位の上皮内癌/上皮内癌，部位不明）
D09.9	上皮内癌，部位不明	C76/D09.7/D09.9	その他及び部位不明確の悪性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の上皮内癌（その他の明示された部位の上皮内癌/上皮内癌，部位不明）
D10.0	口唇	D10	口腔及び咽頭の良性新生物＜腫瘍＞
D10.1	舌	D10	口腔及び咽頭の良性新生物＜腫瘍＞
D10.2	口（腔）底	D10	口腔及び咽頭の良性新生物＜腫瘍＞
D10.3	その他及び部位不明の口腔	D10	口腔及び咽頭の良性新生物＜腫瘍＞
D10.4	扁桃	D10	口腔及び咽頭の良性新生物＜腫瘍＞
D10.5	中咽頭のその他の部位	D10	口腔及び咽頭の良性新生物＜腫瘍＞
D10.6	鼻＜上＞咽頭	D10	口腔及び咽頭の良性新生物＜腫瘍＞
D10.7	下咽頭	D10	口腔及び咽頭の良性新生物＜腫瘍＞
D10.9	咽頭，部位不明	D10	口腔及び咽頭の良性新生物＜腫瘍＞
D11.0	耳下腺	D11	大唾液腺の良性新生物＜腫瘍＞
D11.7	その他の大唾液腺	D11	大唾液腺の良性新生物＜腫瘍＞
D11.9	大唾液腺，部位不明	D11	大唾液腺の良性新生物＜腫瘍＞

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
D12.0	盲腸	D12	結腸，直腸，肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞
D12.1	虫垂	D12	結腸，直腸，肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞
D12.2	上行結腸	D12	結腸，直腸，肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞
D12.3	横行結腸	D12	結腸，直腸，肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞
D12.4	下行結腸	D12	結腸，直腸，肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞
D12.5	S状結腸	D12	結腸，直腸，肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞
D12.6	結腸，部位不明	D12	結腸，直腸，肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞
D12.7	直腸S状結腸移行部	D12	結腸，直腸，肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞
D12.8	直腸	D12	結腸，直腸，肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞
D12.9	肛門及び肛門管	D12	結腸，直腸，肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞
D13.0	食道	D13	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物＜腫瘍＞
D13.1	胃	D13	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物＜腫瘍＞
D13.2	十二指腸	D13	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物＜腫瘍＞
D13.3	その他及び部位不明の小腸	D13	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物＜腫瘍＞
D13.4	肝	D13	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物＜腫瘍＞
D13.5	肝外胆管	D13	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物＜腫瘍＞
D13.6	膵	D13	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物＜腫瘍＞
D13.7	内分泌膵	D13	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物＜腫瘍＞
D13.9	消化器系，部位不明確	D13	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物＜腫瘍＞
D14.0	中耳，鼻腔及び副鼻腔	D14	中耳及び呼吸器系の良性新生物＜腫瘍＞
D14.1	喉頭	D14	中耳及び呼吸器系の良性新生物＜腫瘍＞
D14.2	気管	D14	中耳及び呼吸器系の良性新生物＜腫瘍＞
D14.3	気管支及び肺	D14	中耳及び呼吸器系の良性新生物＜腫瘍＞
D14.4	呼吸器系，部位不明	D14	中耳及び呼吸器系の良性新生物＜腫瘍＞
D15.0	胸腺	D15	その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物＜腫瘍＞
D15.1	心臓	D15	その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物＜腫瘍＞
D15.2	縦隔	D15	その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物＜腫瘍＞
D15.7	その他の明示された胸腔内臓器	D15	その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物＜腫瘍＞
D15.9	胸腔内臓器，部位不明	D15	その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物＜腫瘍＞
D16.0	肩甲骨及び上肢の長骨	D16	骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞
D16.1	上肢の短骨	D16	骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞
D16.2	下肢の長骨	D16	骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞
D16.3	下肢の短骨	D16	骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞
D16.4	頭蓋骨及び顔面骨	D16	骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞
D16.5	下顎骨	D16	骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞
D16.6	脊柱	D16	骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞
D16.7	肋骨，胸骨及び鎖骨	D16	骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞
D16.8	骨盤骨，仙骨及び尾骨	D16	骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞
D16.9	骨及び関節軟骨，部位不明	D16	骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞
D17.0	頭部，顔面及び頸部の皮膚及び皮下組織	D17	良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）
D17.1	体幹の皮膚及び皮下組織	D17	良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）
D17.2	（四）肢の皮膚及び皮下組織	D17	良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）
D17.3	その他及び部位不明の皮膚及び皮下組織	D17	良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）
D17.4	胸腔内臓器	D17	良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）
D17.5	腹腔内臓器	D17	良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）
D17.6	精索	D17	良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）
D17.7	その他の部位	D17	良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）
D17.9	良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞，部位不明	D17	良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）
D18.0	血管腫，全ての部位	D18	血管腫及びリンパ管腫，全ての部位
D18.1	リンパ管腫，全ての部位	D18	血管腫及びリンパ管腫，全ての部位
D19.0	胸膜の中皮組織	D19	中皮組織の良性新生物＜腫瘍＞
D19.1	腹膜の中皮組織	D19	中皮組織の良性新生物＜腫瘍＞
D19.7	その他の部位の中皮組織	D19	中皮組織の良性新生物＜腫瘍＞
D19.9	中皮組織，部位不明	D19	中皮組織の良性新生物＜腫瘍＞
D20.0	後腹膜	D20	後腹膜及び腹膜の軟部組織の良性新生物＜腫瘍＞
D20.1	腹膜	D20	後腹膜及び腹膜の軟部組織の良性新生物＜腫瘍＞
D21.0	頭部，顔面及び頸部の結合組織及びその他の軟部組織	D21	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D21.1	上肢の結合組織及びその他の軟部組織，肩を含む	D21	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D21.2	下肢の結合組織及びその他の軟部組織，股関節部を含む	D21	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D21.3	胸部＜郭＞の結合組織及びその他の軟部組織	D21	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D21.4	腹部の結合組織及びその他の軟部組織	D21	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D21.5	骨盤の結合組織及びその他の軟部組織	D21	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D21.6	体幹の結合組織及びその他の軟部組織，部位不明	D21	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物＜腫瘍＞

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
D21.9	結合組織及びその他の軟部組織，部位不明	D21	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D22.0	口唇のメラニン細胞性母斑	D22	メラニン細胞性母斑
D22.1	眼瞼のメラニン細胞性母斑，眼角を含む	D22	メラニン細胞性母斑
D22.2	耳及び外耳道のメラニン細胞性母斑	D22	メラニン細胞性母斑
D22.3	その他及び部位不明の顔面のメラニン細胞性母斑	D22	メラニン細胞性母斑
D22.4	頭皮及び頸部のメラニン細胞性母斑	D22	メラニン細胞性母斑
D22.5	体幹のメラニン細胞性母斑	D22	メラニン細胞性母斑
D22.6	上肢のメラニン細胞性母斑，肩を含む	D22	メラニン細胞性母斑
D22.7	下肢のメラニン細胞性母斑，股関節部を含む	D22	メラニン細胞性母斑
D22.9	メラニン細胞性母斑，部位不明	D22	メラニン細胞性母斑
D23.0	口唇の皮膚	D23	皮膚のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D23.1	眼瞼の皮膚，眼角を含む	D23	皮膚のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D23.2	耳及び外耳道の皮膚	D23	皮膚のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D23.3	その他及び部位不明の顔面の皮膚	D23	皮膚のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D23.4	頭皮及び頸部の皮膚	D23	皮膚のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D23.5	体幹の皮膚	D23	皮膚のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D23.6	上肢の皮膚，肩を含む	D23	皮膚のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D23.7	下肢の皮膚，股関節部を含む	D23	皮膚のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D23.9	皮膚，部位不明	D23	皮膚のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D24	乳房の良性新生物＜腫瘍＞	D24/D48	乳房の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D25.0	粘膜下子宮平滑筋腫	D25	子宮平滑筋腫
D25.1	壁内子宮平滑筋腫	D25	子宮平滑筋腫
D25.2	漿膜下子宮平滑筋腫	D25	子宮平滑筋腫
D25.9	子宮平滑筋腫，部位不明	D25	子宮平滑筋腫
D26.0	子宮頸（部）	D26	子宮のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D26.1	子宮体部	D26	子宮のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D26.7	子宮のその他の部位	D26	子宮のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D26.9	子宮，部位不明	D26	子宮のその他の良性新生物＜腫瘍＞
D27	卵巣の良性新生物＜腫瘍＞	D27/D28	卵巣の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の女性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D28.0	外陰	D27/D28	卵巣の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の女性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D28.1	膣	D27/D28	卵巣の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の女性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D28.2	卵管及び子宮靭帯＜広間膜，円索＞	D27/D28	卵巣の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の女性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D28.7	その他の明示された女性生殖器	D27/D28	卵巣の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の女性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D28.9	女性生殖器，部位不明	D27/D28	卵巣の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の女性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D29.0	陰茎	D29	男性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D29.1	前立腺	D29	男性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D29.2	精巣＜睾丸＞	D29	男性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D29.3	精巣上体＜副睾丸＞	D29	男性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D29.4	陰のう＜嚢＞	D29	男性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D29.7	その他の男性生殖器	D29	男性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D29.9	男性生殖器，部位不明	D29	男性生殖器の良性新生物＜腫瘍＞
D30.0	腎	D30	腎尿路の良性新生物＜腫瘍＞
D30.1	腎盂	D30	腎尿路の良性新生物＜腫瘍＞
D30.2	尿管	D30	腎尿路の良性新生物＜腫瘍＞
D30.3	膀胱	D30	腎尿路の良性新生物＜腫瘍＞
D30.4	尿道	D30	腎尿路の良性新生物＜腫瘍＞
D30.7	その他の尿路	D30	腎尿路の良性新生物＜腫瘍＞
D30.9	尿路，部位不明	D30	腎尿路の良性新生物＜腫瘍＞
D31.0	結膜	D31	眼及び付属器の良性新生物＜腫瘍＞
D31.1	角膜	D31	眼及び付属器の良性新生物＜腫瘍＞
D31.2	網膜	D31	眼及び付属器の良性新生物＜腫瘍＞
D31.3	脈絡膜	D31	眼及び付属器の良性新生物＜腫瘍＞
D31.4	毛様体	D31	眼及び付属器の良性新生物＜腫瘍＞
D31.5	涙腺及び涙管	D31	眼及び付属器の良性新生物＜腫瘍＞
D31.6	眼窩，部位不明	D31	眼及び付属器の良性新生物＜腫瘍＞
D31.9	眼，部位不明	D31	眼及び付属器の良性新生物＜腫瘍＞
D32.0	脳髄膜	D32	髄膜の良性新生物＜腫瘍＞
D32.1	脊髄膜	D32	髄膜の良性新生物＜腫瘍＞
D32.9	髄膜，部位不明	D32	髄膜の良性新生物＜腫瘍＞
D33.0	脳，テント上	D33	脳及び中枢神経系のその他の部位の良性新生物＜腫瘍＞
D33.1	脳，テント下	D33	脳及び中枢神経系のその他の部位の良性新生物＜腫瘍＞
D33.2	脳，部位不明	D33	脳及び中枢神経系のその他の部位の良性新生物＜腫瘍＞
D33.3	脳神経	D33	脳及び中枢神経系のその他の部位の良性新生物＜腫瘍＞

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
D33.4	脊髄	D33	脳及び中枢神経系のその他の部位の良性新生物＜腫瘍＞
D33.7	中枢神経系のその他の明示された部位	D33	脳及び中枢神経系のその他の部位の良性新生物＜腫瘍＞
D33.9	中枢神経系，部位不明	D33	脳及び中枢神経系のその他の部位の良性新生物＜腫瘍＞
D34	甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞	D34/D35	甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞
D35.0	副腎	D34/D35	甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞
D35.1	上皮小体＜副甲状腺＞	D34/D35	甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞
D35.2	下垂体	D34/D35	甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞
D35.3	頭蓋咽頭管	D34/D35	甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞
D35.4	松果体	D34/D35	甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞
D35.5	頸動脈小体	D34/D35	甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞
D35.6	大動脈小体及びその他のパラガングリア＜傍神経節＞	D34/D35	甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞
D35.7	その他の明示された内分泌腺	D34/D35	甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞
D35.8	複数の内分泌腺	D34/D35	甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞
D35.9	内分泌腺，部位不明	D34/D35	甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞
D36.0	リンパ節	D36	その他の部位及び部位不明の良性新生物＜腫瘍＞
D36.1	末梢神経及び自律神経系	D36	その他の部位及び部位不明の良性新生物＜腫瘍＞
D36.7	その他の明示された部位	D36	その他の部位及び部位不明の良性新生物＜腫瘍＞
D36.9	部位不明の良性新生物＜腫瘍＞	D36	その他の部位及び部位不明の良性新生物＜腫瘍＞
D37.0	口唇，口腔及び咽頭	D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，肝，胆のう＜嚢＞及び胆管
D37.1	胃	D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，肝，胆のう＜嚢＞及び胆管
D37.2	小腸	D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，肝，胆のう＜嚢＞及び胆管
D37.3	虫垂	D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，肝，胆のう＜嚢＞及び胆管
D37.4	結腸	D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，肝，胆のう＜嚢＞及び胆管
D37.5	直腸	D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，肝，胆のう＜嚢＞及び胆管
D37.6	肝，胆のう＜嚢＞及び胆管	D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，肝，胆のう＜嚢＞及び胆管
D37.7	その他の消化器	D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，肝，胆のう＜嚢＞及び胆管
D37.9	消化器，部位不明	D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，肝，胆のう＜嚢＞及び胆管
D38.0	喉頭	D38	中耳，呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（胸腺（D38.4）を除く）
D38.1	気管，気管支及び肺	D38	中耳，呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（胸腺（D38.4）を除く）
D38.2	胸膜	D38	中耳，呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（胸腺（D38.4）を除く）
D38.3	縦隔	D38	中耳，呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（胸腺（D38.4）を除く）
D38.4	胸腺	C37/D38.4	胸腺の悪性新生物＜腫瘍＞/中耳，呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，胸腺
D38.5	その他の呼吸器	D38	中耳，呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（胸腺（D38.4）を除く）
D38.6	呼吸器，部位不明	D38	中耳，呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（胸腺（D38.4）を除く）
D39.0	子宮	C55/D39.0	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞，部位不明/女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，子宮
D39.1	卵巣	C56/D39.1	卵巣の悪性新生物＜腫瘍＞/女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，卵巣
D39.2	胎盤	C58/D39.2	胎盤の悪性新生物＜腫瘍＞/女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，胎盤
D39.7	その他の女性生殖器	D39	女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（子宮（D39.0），卵巣（39.1），胎盤（39.2）を除く）
D39.9	女性生殖器，部位不明	D39	女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（子宮（D39.0），卵巣（39.1），胎盤（39.2）を除く）
D40.0	前立腺	D40	男性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D40.1	精巣＜睾丸＞	D40	男性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D40.7	その他の男性生殖器	D40	男性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D40.9	男性生殖器，部位不明	D40	男性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D41.0	腎	C64/D41.0	腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞/腎尿路の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，腎
D41.1	腎盂	C65/D41.1	腎盂の悪性新生物＜腫瘍＞/腎尿路の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，腎盂
D41.2	尿管	C66/D41.2	尿管の悪性新生物＜腫瘍＞/腎尿路の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，尿管
D41.3	尿道	D41	腎尿路の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（腎（D41.0），腎盂（D41.1），尿管（D41.2）を除く）
D41.4	膀胱	D41	腎尿路の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（腎（D41.0），腎盂（D41.1），尿管（D41.3）を除く）
D41.7	その他の尿路	D41	腎尿路の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（腎（D41.0），腎盂（D41.1），尿管（D41.4）を除く）

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
D41.9	尿路，部位不明	D41	腎尿路の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（腎（D41.0），腎盂（D41.1），尿管（D41.5）を除く）
D42.0	脳髄膜	D42	髄膜の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D42.1	脊髄膜	D42	髄膜の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D42.9	髄膜，部位不明	D42	髄膜の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D43.0	脳，テント上	D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D43.1	脳，テント下	D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D43.2	脳，部位不明	D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D43.3	脳神経	D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D43.4	脊髄	D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D43.7	中枢神経系のその他の部位	D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D43.9	中枢神経系，部位不明	D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D44.0	甲状腺	C73/D44.0	甲状腺の悪性新生物＜腫瘍＞/内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，甲状腺
D44.1	副腎	D44	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D44.2	上皮小体＜副甲状腺＞	D44	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D44.3	下垂体	D44	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D44.4	頭蓋咽頭管	D44	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D44.5	松果体	D44	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D44.6	頸動脈小体	D44	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D44.7	大動脈小体及びその他のパラガングリア＜傍神経節＞	D44	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D44.8	複数の内分泌腺	D44	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D44.9	内分泌腺，部位不明	D44	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D45	真正赤血球増加症＜多血症＞	D45/D47	真正赤血球増加症＜多血症＞/リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物＜腫瘍＞
D46.0	環状鉄芽球を伴わない不応性貧血と記載されたもの	D46	骨髄異形成症候群
D46.1	環状鉄芽球を伴う不応性貧血	D46	骨髄異形成症候群
D46.2	芽球過剰性不応性貧血	D46	骨髄異形成症候群
D46.4	不応性貧血，詳細不明	D46	骨髄異形成症候群
D46.5	多系統異形成を伴う不応性貧血	D46	骨髄異形成症候群
D46.6	単独del(5q)染色体異常を伴う骨髄異形成症候群	D46	骨髄異形成症候群
D46.7	その他の骨髄異形成症候群	D46	骨髄異形成症候群
D46.9	骨髄異形成症候群，詳細不明	D46	骨髄異形成症候群
D47.0	性状不詳及び不明の組織球性及び肥満細胞性腫瘍	D45/D47	真正赤血球増加症＜多血症＞/リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物＜腫瘍＞
D47.1	慢性骨髄増殖性疾患	D45/D47	真正赤血球増加症＜多血症＞/リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物＜腫瘍＞
D47.2	意義不明の単クローングロブリン血症（MGUS）	D45/D47	真正赤血球増加症＜多血症＞/リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物＜腫瘍＞
D47.3	本態性（出血性）血小板血症	D45/D47	真正赤血球増加症＜多血症＞/リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物＜腫瘍＞
D47.4	骨髄線維症	D45/D47	真正赤血球増加症＜多血症＞/リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物＜腫瘍＞
D47.5	慢性好酸球性白血病［好酸球増加症候群］	D45/D47	真正赤血球増加症＜多血症＞/リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物＜腫瘍＞
D47.7	リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の明示された新生物＜腫瘍＞	D45/D47	真正赤血球増加症＜多血症＞/リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物＜腫瘍＞
D47.9	リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，詳細不明	D45/D47	真正赤血球増加症＜多血症＞/リンパ組織，造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物＜腫瘍＞
D48.0	骨及び関節軟骨	D24/D48	乳房の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D48.1	結合組織及びその他の軟部組織	D24/D48	乳房の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D48.2	末梢神経及び自律神経系	D24/D48	乳房の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D48.3	後腹膜	D24/D48	乳房の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D48.4	腹膜	D24/D48	乳房の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D48.5	皮膚	D24/D48	乳房の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D48.6	乳房	D24/D48	乳房の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D48.7	その他の明示された部位	D24/D48	乳房の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞
D48.9	性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞，部位不明	D24/D48	乳房の良性新生物＜腫瘍＞/その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞

資料4　「死因情報の変換表（がん以外の例）」

コード	コード名	加工後のコード	加工後のコード名
A00－A09	腸管感染症（A00－A09）		腸管感染症（A00－A09）
A00.0	コレラ菌によるコレラ	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A00.1	エルトールコレラ菌によるコレラ	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A00.9	コレラ，詳細不明	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A01.0	腸チフス	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A01.1	パラチフスA	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A01.2	パラチフスB	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A01.3	パラチフスC	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A01.4	パラチフス，詳細不明	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A02.0	サルモネラ腸炎	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A02.1	サルモネラ敗血症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A02.2	局所的サルモネラ感染症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A02.8	その他の明示されたサルモネラ感染症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A02.9	サルモネラ感染症，詳細不明	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A03.0	志賀菌による細菌性赤痢	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A03.1	フレクスナー菌による細菌性赤痢	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A03.2	ボイド菌による細菌性赤痢	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A03.3	ソンネ菌による細菌性赤痢	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A03.8	その他の細菌性赤痢	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A03.9	細菌性赤痢，詳細不明	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A04.0	腸管病原性大腸菌感染症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A04.1	腸管毒素原性大腸菌感染症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A04.2	腸管組織侵襲性大腸菌感染症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A04.3	腸管出血性大腸菌感染症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A04.4	その他の大腸菌性腸管感染症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A04.5	カンピロバクター腸炎	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A04.6	エルシニア　エンテロコリチカによる腸炎	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A04.7	クロストリジウム・ディフィシルによる腸炎	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A04.8	その他の明示された細菌性腸管感染症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A04.9	細菌性腸管感染症，詳細不明	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A05	その他の細菌性食中毒，他に分類されないもの	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A05.0	ブドウ球菌性食中毒	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A05.1	ボツリズム＜ボツリヌス中毒＞	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A05.2	ウェルシュ菌食中毒	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A05.3	腸炎ビブリオ食中毒	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A05.4	セレウス菌食中毒	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A05.8	その他の明示された細菌性食中毒	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A05.9	細菌性食中毒，詳細不明	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A06	アメーバ症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A06.0	急性アメーバ赤痢	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A06.1	慢性腸アメーバ症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A06.2	アメーバ性非赤痢性大腸炎	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A06.3	腸管アメーバ肉芽腫	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A06.4	アメーバ性肝膿瘍	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A06.5	アメーバ性肺膿瘍（J99.8*）	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A06.6	アメーバ性脳膿瘍（G07*）	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A06.7	皮膚アメーバ症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A06.8	その他の部位のアメーバ感染症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A06.9	アメーバ症，詳細不明	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A07	その他の原虫性腸疾患	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A07.0	バランチジウム症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A07.1	ジアルジア症［ランブル鞭毛虫症］	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A07.2	クリプトスポリジウム症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）
A07.3	イソスポラ症	A00－A09	腸管感染症（A00－A09）

1

※以降、ICD-10 における「C00-D48 新生物」以外のコードについて同様